

令和3年度 全国学力・学習状況調査
教科に関する調査結果及び考察について

保護者の皆様へ

白河市立信夫第一小学校長

令和3年5月27日に実施しました「全国学力・学習状況調査」の教科に関する調査結果及び考察についてお知らせいたします。

この調査は、学校における児童への教育指導や学習状況の改善等に役立てることなどを目的としています。

調査対象は6年生で、国語と算数の2教科を実施しました。

本校では、教科に関する調査結果とその考察、ならびに指導方法を改善する取組をお知らせし、学校と保護者や地域の方々がともに手を携えて、児童の学力向上や学習環境などの改善に取り組んで参りたいと考えておりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の一部であること、また、学校における教育活動の一側面の結果であることをご理解ください。

【本校と全国の平均正答率比較】

教科	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
国語	64.7%	○				
算数	70.2%	○				

【国語：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
言葉の特徴や使い方に関する 事項	68.3%	○				
話すこと・聞くこと	77.8%	○				
書くこと	60.7%	○				
読むこと	47.2%	○				

【考 察】

- 「話すこと・聞くこと」においては、資料を用いて話す目的を理解する問題に課題が見られました。根拠を示したり資料を活用したりしながら話す場面を意図的に授業に組み入れることで、話し手の考えが聞き手に理解されやすくなる経験を重ねていきます。
- 「読むこと」においては、文章全体の構成を捉え、内容の中心となる事柄を把握することに課題が見られました。何についてどのように書かれている文章なのかを読み取れるよう、事実と感想、意見などの区別について丁寧に指導していきます。

【算数：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
数と計算	63.1%	○				
図形	57.9%	○				
測定	74.8%	○				
変化と関係	75.9%	○				
データの活用	76.0%	○				

【考 察】

- 「数と計算」においては、答えが1より小さくなるわり算の場面から、数量の関係を捉えて式に表すことに課題が見られました。「何算になるのか」「何を何で割るのか」などの根拠を、文章から正しく読み取ることができるよう指導していきます。
- 「図形」においては、直角三角形の面積を求める問題に課題が見られました。基本的な図形の面積を求める公式を確実に身につけ、問題に応じて適切に活用できるように、復習のためのドリルやプリントを用いて繰り返し指導していきます。